

## 羽島特別支援学校 人権教育ロードマップ

		認識力(差異に気付く) R7重点	自己啓発力(考える) R8重点	行動力(正しく行動) R9重点
重点目標		人との関わりを通して自分や仲間の良さを知ると共に、支え合う大切さに気付くことができる。	人との適切なかかわり方について考えよう และสามารถ。	正しい判断ができ、互いを大切にしたい行動をすることができる。
高等部	3年生	○仲間同士の偏見や差別に気付くことができるようにする。 【主権者教育】18才から選挙権を得ることを理解し、平等に大人としての権利を得ることを考えることができた。	○仲間と協力して、学級や学年の課題を解決することで達成感を感じられるようにする。 【修学旅行に行こう】仲間の意見を尊重しながら散策ルートを決める。課題が出てきた時に話し合いを繰り返し、改善案を出すことができた。 【卒業に向けて】頑張ったことやできるようになったことを互いに認め合う。仲間の良いところや成長したことを出し合うことができた。 【記念品を作ろう】みんなで押した手形や足形できた作品を誰が欠けていてもできなかったことや違いがあることを認め合うことができた。	○様々な方法を活用して、自分の気持ちや考えを相手に分かるように伝えるようにする。 【修学旅行に行こう】相手の立場を尊重しながら考え行動することができた。自分たちで携帯電話等のルールを決め、自分たちで行動を律することができた。
	2年生	○相手の気持ちを考え、物事をいろいろな視点で見ようとする。 【岐阜県を知ろう】グループでの調べ学習では、自分の得意なことや苦手なことを基に役割分担をし、タブレットでまとめることができた。 【学校祭を成功させよう】仲間の性格や好きなこと、趣味を考えて劇の配役を決めることができた。	○仲間と話し合い、よりよい方法を考え、解決しようとする。 【学校祭を成功させよう】プレゼン対決→仲間と協力して観光地などを調べ、得意分野を相談しながら役割分担した。発表時には、仲間のフォローをしながら進める姿があった。コント対決→得意な役割を推薦し合ったり、仲間の演技を見て助言したり、その助言を受け入れて改善したり、繰り返し練習に取り組むことができた。より良い演技を目指して意見を言い合い、改善しようとする姿が見られた。	○仲間や周りの人の気持ちを理解し、協力し合える関係を築くようにする。 【学校祭を成功させよう】ステージ発表の練習では、仲間の活動を見て拍手をする姿や、良かった点を伝え合う姿が見られた。お互いの苦手な部分を補いながら活動に取り組むことができた。
	1年生	○相手の気持ちを考え理解しようとする。 【学年集会を企画しよう】学年の仲間全員楽しめるゲームの企画、説明、進行をすることができた。	○安心して生活できる学級や学年にするために役割を果たそうとする。 【働く力を身に付けよう】基本的な姿勢や言葉遣いを使って、教師や仲間と関わることに取り組んだ。作業と休み時間を分けて、教師と仲間と関わることに取り組むことができた。	○仲間との学び合いや対話を大切に、物事を進めようとする。 【働く力を身に付けよう】返事、挨拶、姿勢、報告の仕方、身だしなみについて、仲間と声をかけ合いながら確認し実践することに取り組んだ。自分たちで目標を決め、自分たちで目標を達成するにはどうすれば良いのか考え行動することに取り組んだ。
中学部	3年生	○様々な仲間の考えを受け入れるようにする。 【3年生になって】自己紹介を聞き、誕生日等を知ったり、自分と比較したりすることができた。 【遠足に行こう】学級の仲間と意見を出し合って、自由時間の遊びを決めることができた。 【働くことの学習】グループごとに目標を決めて協力して作業をすることができた。 【余暇の過ごし方】余暇についてグループごとに話し合いをしながら活動を選ぶことができた。	○仲間との話し合いを通じて、課題を解決しようとする。 【修学旅行に行こう】当日のバスの中で行うバスレクを決める活動をした。「全員が楽しめる」や「バスの中でできる」という条件を提示し、話し合いを行った。仲間が出した意見が条件に合っていないと、「それはバスの中では難しいかもしれないから休み時間にやろう。」などと、仲間の意見を尊重しながら自分の意見を発する姿が見られた。	○相手の気持ちを聞いて、自分の気持ちや考えを適切に伝えようとする。 【修学旅行に行こう】話し合いをする上で、意見を受け入れたり打開策を考えたりして、他者を尊敬する気持ちをもつことができるように指導を行った。
	2年生	○いろいろな角度から仲間のことを考えるようにする。 【2年生になって】仲間の自己紹介を聞いて、仲間と関わるきっかけを作ることができた。 【遠足に行こう】仲間と一緒に遠足先での遊びを考えることができた。 【自然を体験しよう】自然のものを使ったクラフト活動を通して、他学年と活動するきっかけ作りをすることができた。	○課題に対して、話し合いを大切に解決しようとする。 【遠足に行こう】当日にみんなでする遊びを決める活動をし、生徒たちで決められるよう生徒の中から司会者を出し、話し合いながら取り組んだ。意見を言っていない仲間がいると「〇〇さんはどう思う?」と聞いたり、「この遊びでいい?」と尋ねたりする姿が見られた。また、意見が食い違ってくると優しく提案する姿も見られた。	○相手の立場に立って考え、仲良く協力しようとする。 【遠足に行こう】タワーに上がったり、遊具で遊んだりしながら、新しい仲間といっしょに活動することができた。歩くのが遅い仲間に寄り添ったり、言葉を掛けたりする姿も見られ、仲間を気遣いながら行動することができた。
	1年生	○一人一人の外見や考え方、感じ方に違いがあることに気付くようにする。 【中学生になって】仲間の自己紹介を聞いて、好きなものや誕生日を知ることができた。 【自然を体験しよう】他学年と自然の木や草や石を使って物作りに取り組むことができた。 【働くことの学習】家族に職業インタビューを実施し、仲間と交流をすることができた。	○自分たちが安心して生活できる学級にするための役割を果たそうとする。 【中学生になって】学校探索を行い、ミッションの場所を見つけると仲間と知らせる一緒に喜び合う姿が見られ、新しい仲間と関わるきっかけとなった。一緒に校内を歩く中で自然と関わりを持つきっかけとなり、言葉で表現することが難しい生徒も関わるすることができた。	○仲間と一緒に学び、協力しようとする。 【中学生になって】なかまと協力して物づくりに取り組むことができた。お互いに声を掛け合って散策や創作、遊びなどの活動に取り組む姿が見られた。出来たものに対してお互いが評価をする姿が見られた。
小学部	高学年	○活動に取り組む中で、自分や友達の良さや頑張りを知る。 【校外学習に行こう】日程や行先を発表したり、発表者に注目したりすることができた。 【発表会をがんばろう】友達が練習している姿を見て、応援したり拍手をしたりすることができた。 【お楽しみ会をしよう】これまで取り組んできた課題を発表し、友達の頑張りを知ることができた。	○友達を意識して仲良く活動する。 【学校祭をがんばろう】友達と一緒に、お互いのセリフや動きをきっかけにして演技をすることができた。 【誕生会をしよう】友達にプレゼントを渡したり、ケーキを運んだりして関わるすることができた。 【なつまつりをしよう】店で遊ぶための遊具や売るものを作って、友達に楽しく遊んでもらえるように準備をした。楽しく遊んでお互いに「ありがとうございました」と、感謝の気持ちを伝えることができた。	○友達と仲良く一緒に活動に取り組み、最後までやり遂げる。 【みんなで白まろう】クラスごとにみんなが楽しむことのできる出し物を1つ考えて、準備をすることができた。カラオケ大会で友だちを応援するためのグッズを作ることができた。
	中学年	○活動に取り組む中で、自分の良さや頑張りを知る。 【運動会をがんばろう】得意な競技に参加して活動をすることができた。	○自分のしたいことを教師や友達に伝えようとする。 【おたのしみかいをしよう】飾りやゲームの準備を友達と分担して行ったり、ゲームで遊びたい気持ちを教師に伝えて遊んだりした。 【夏祭りをしよう】やりたい役を選べるようにしたり、個の力ができるような役を設けたりした。教師だけでなく友達に伝えることができるよう、店員役と客役を児童が担うようにし、言葉で伝えようとするだけでなく、会釈をしたり、視線を向けたり、物を相手に渡したりするなど行動で表すように促した。	○簡単な約束を守り、自分のしたいことを選んで実行する。 【夏祭りをしよう】「さかなつり」「まとあて」「ゴルフゲーム」から、遊びを選んで楽しむことができた。お店屋さんとお客さんを交代して遊ぶことができた。
	低学年	○教師の支援を受けながら、友達と一緒に活動する。 【みんなで遊ぼう】遊びをくじで決め、みんなで遊ぶことができた。 【みんなで歩こう】教師や友達と手をつないで、安全に目的地まで歩くことができた。	○自分のしたいことを自分なりの方法で表そうとする。 【ウォーターランドであそぼう】自分で好きな玩具を選んで遊ぶ中で、友達の遊ぶ様子に興味をもちたり、使ったりできるようにするために、教師と一緒に簡単なやりとりを繰り返し、言葉やサイン等で相手に伝えようとすることができた。 【ふゆのあそびをしよう】キャスターカーを見たりゴロゴロという音を聞いたりして、やりたい気持ちを体の動きや声で教師に伝えることができた。	○順番を守って遊ぶ。 【遊具で遊ぼう】順番を守って、三輪車に乗り、コースを走ることを楽しむことができた。
全校共通活動	<p>・令和7年度は、「認識力」を重点目標として、児童生徒の実態と照らし合わせて実施し、今年度のものに修正する。</p> <p>・各領域・教科の年間指導計画に、人権教育上のねらい・視点・配慮を盛り込み、年間を通して指導することで、一人一人を大切に、自らが主体的に学び、自他の大切さが実感できる環境づくりができ、人権が尊重される社会づくりに向けた行動につなげる。</p>			

